

2026年度

成蹊大学大学院 学生募集要項

理工学研究科

目 次

理工学研究科の3ポリシー.....	1
博士前期課程（一般）.....	6
博士後期課程（一般）.....	10
博士前期・博士後期課程（社会人特別選抜）.....	14
コース一覧.....	18
外国籍を有する受験生の方へ.....	19
外国の大学（大学院）を卒業・修了（見込）の場合の 「学位取得（見込）証明書・成績証明書」について.....	20
納付金.....	21
奨学金制度.....	22
教育補助員制度.....	23
学会発表等に対する助成.....	23
私費外国人留学生授業料等減免制度.....	23
出願書類（所定様式）	

2026年度選考方法に変更が生じた場合は、入試情報サイトS-NET に
随時掲載します。

個人情報の取扱いについて

成蹊大学大学院入学試験の出願書類に記載された個人情報に関しては、

①入学試験実施、②学籍の登録及び管理、③個人を特定できない形での統計的資料の作成

に使用するものであって、それ以外の目的には一切使用いたしません。なお、これらの業務の一部を、
成蹊大学が指定した業者に委託します。業務委託にあたり、委託業者に個人情報を提供することがあり
ます。

出願書類については「個人情報及び特定個人情報の保護に関する基本方針」に基づき適切に管理いた
します。詳細は、成蹊学園ホームページの「個人情報保護に関する取り組み」をご確認ください。

理工学研究科の3ポリシー（2020年度以降入学向け）

■理工学研究科の理念・目的

「科学技術を通じて知識基盤社会の進展に貢献する人材の育成」を目標として、その理念を実現するために、理工学研究科には、理工学部1学科5専攻に対応する5コースを設けている。博士前期課程の目的は、理工学の分野において、創造性豊かで優れた研究活動を行っていくための広い視野と深い知識の修得及び研究能力の涵養により、高度な専門知識をもって社会に貢献できる技術者又は将来の研究者を養成することである。博士後期課程の目的は、理工学の分野において、高い倫理観と創造性豊かな優れた研究・開発能力を持つ研究者を養成することである。

■理工学研究科の教育目標（人材育成方針）

理工学研究科の各コースは、成蹊大学及び理工学研究科の「理念・目的」を踏まえ以下の人材育成方針のもとに教育を行う。

＜博士前期課程＞

＜データ数理コース＞

- 1 データサイエンス、オペレーションズ・リサーチ、アルゴリズム理論を含む多様なデータ数理分野において、幅広い知識の修得と高度な研究手法の獲得により革新的科学技術の創造に挑む先導的な情報・数理関連技術者を養成すること又は研究者の素養を涵養することを目的とする。

＜コンピュータ科学コース＞

- 2 システムソフトウェア、情報ネットワーク、メディア技術分野を含むコンピュータ科学に関する深い知識と高度な研究手法の修得により、情報化社会の問題を解決する革新的科学技術の創造に挑む情報技術者を養成すること、又は研究者の素養を涵養することを目的とする。

＜機械システムコース＞

- 3 機械工学・情報通信技術を基盤としたものづくり技術の分野において、優れた研究・開発を行っていくための知識の修得及び研究・開発能力の獲得により、国内外で活躍できる創造性豊かな技術者を養成すること、又は研究者の素養を涵養することを目的とする。

＜電気電子コース＞

- 4 電気電子工学・機械制御工学・数理情報工学を基盤とした多様な分野において、高度な専門知識を修得し、国内外で活躍できる創造性豊かな技術者を養成すること、又は研究者の素養を涵養することを目的とする。

＜応用化学コース＞

- 5 健康・医療を拓くライフイノベーション分野と、持続可能な社会を拓くグリーンイノベーション分野の基礎知識と基礎技術を広く修得し、ITを活用した新たな科学技術の創造に挑む技術者を養成すること、又は研究者の素養を涵養することを目的とする。

＜博士後期課程＞

＜データ数理コース＞

- 6 データサイエンス、オペレーションズ・リサーチ、アルゴリズム理論を含む多様なデータ数理分野において、多元的な視点で先導的な立場に立ち、高い倫理観を持つ発想豊かな研究者を養成することを目的とする。

＜コンピュータ科学コース＞

- 7 システムソフトウェア、情報ネットワーク、メディア技術分野を含むコンピュータ科学に関する深

い知識と高い専門性を習得し、優れた独創性と高い倫理観をもって、情報化社会の問題を解決する先端技術の研究・開発を先導する研究者を養成することを目的とする。

＜機械システムコース＞

8 機械工学・情報通信技術を基盤としたものづくり技術の分野において、優れた研究・開発知識や能力を活用し、リーダーシップと協調性をもって社会課題を解決し、高度な専門知識と高い倫理観を持って社会に貢献できる研究者を養成することを目的とする。

＜電気電子コース＞

9 電気電子工学・機械制御工学・数理情報工学を基盤とした多様な分野において、研究・開発に関わる広い専門知識・高度な応用力・高い倫理観をもって国際社会に貢献できる独創性に優れた研究者を養成することを目的とする。

＜応用化学コース＞

10 健康・医療を拓くライフイノベーション分野と、持続可能な社会を拓くグリーンイノベーション分野において、多面的な視点を持って革新的科学技術の創造に挑む研究者を養成することを目的とする。

■理工学研究科の学位授与の方針（Diploma Policy；DP）

理工学研究科は、次に掲げる博士前期課程の要件をすべて満たし、かつ本研究科の博士前期の教育課程において所定の単位を取得した者に対して「修士（理工学）」の学位を授与する。

＜博士前期課程＞ 修士（理工学）

【基礎知識と基礎技術】

（DP 1）自身の専門に関わる研究活動を行うため、数学や自然科学を中心とする基礎知識と種々の工学的基礎技術を修得しており、それらを融合して研究課題に取り組むことができる。

【幅広い知識と視野】

（DP 2）幅広い理学的および工学的知識と視野の獲得を通じて、自らの研究課題の位置づけを理解し、説明できる。

【新しい課題への意欲】

（DP 3）新たな研究課題を発見し、必要な理学・工学知識と技術を活用して意欲的かつ継続的に解決に向けて挑むことができる。

＜博士後期課程＞ 博士（理工学）

【多面的な研究手法】

（DP 4）理学・工学にわたる多面的な視野に基づいた研究手法を修得して、幅広い研究課題に主体的に取り組むことができる。

【高い倫理観】

（DP 5）自立した研究者として、高い倫理観を持ち、理学・工学の横断的な深い経験をもって知識基盤社会に貢献できる。

【研究者としての使命の自覚】

（DP 6）研究者としての使命を自覚し、他者と協働して創造性豊かな研究成果を社会に継続的に公表できる。

■理工学研究科の教育課程編成・実施の方針（Curriculum Policy ; CP）

理工学研究科は、理工学1専攻で5つのコースからなる。DPを踏まえ、次のような方針で教育課程を編成・実施する。すなわち、博士前期課程では、「専攻共通選択科目」「各コース選択科目」と「各コース必修科目」から構成する。博士後期課程では、「各コース選択科目」と「各コース必修科目」から構成する。

＜博士前期課程＞ 修士（理工学）

【専攻共通選択科目】

（CP1）コースを問わず履修することができる、「表現技術特論」「画像センシング特論」「ナノ物性特論」「量子力学特論」「応用数学特論」「データ解析特論」「丸の内ビジネス研修」「学際分野特殊研究」など技術者・研究者の基礎的素養とされる専攻共通選択科目を設置する。このなかの「学際分野特殊研究」は成蹊大学大学院の他研究科と共同で開講される科目である。これらは6単位を必修とし、広範かつ多角的な視野の構築を目的とする。

【必修科目】

（CP2）コース別に専門的な特別実験と特別演習の科目群を必修科目として設置する。特別実験の科目群では、複数教員による実験指導を通じて理学から工学にわたる基礎的で広範な実験技術や実験手法の修得をめざす。また、特別演習の科目群では、自身の修士論文研究課題に与する科学理論について調査し、その調査内容の整理と関連実験における実験結果を分析・評価する手法、ならびに発表討論の手法を身につける。

【選択科目】

（CP3）各コースの専門性に応じた科目群を設置し、理学・工学の横断的な専門知識とその活用力を十分に修得する。

＜博士後期課程＞ 博士（理工学）

【必修科目】

（CP4）コース別に専門的な特別実験と特別演習の科目群を必修科目として設置する。特別演習の科目群では、自身の博士論文研究課題に即した理学・工学の理論と関連実験について、調査内容の整理や実験結果を分析・評価する手法と、討論を通じて新たな問題を設定するなどの高度な研究手法を身につける。

【選択科目】

（CP5）各コースの専門性に応じた科目群を配置し、理学・工学に広く関わる専門的で高度な知識を十分に修得する。

●（付表）理工学研究科の博士前期課程におけるカリキュラムマップ（各コース共通）

	DP1	DP2	DP3
専攻共通科目 CP1	◎	◎	○
必修科目 CP2	◎	◎	◎
選択科目 CP3	○	○	◎

●（付表）理工学研究科の博士後期課程におけるカリキュラムマップ（各コース共通）

	DP4	DP5	DP6
必修科目 CP4	◎	○	◎
選択科目 CP5	◎	◎	◎

■理工学研究科の入学受入れの方針（Admission Policy ; A P）

理工学研究科と各コースの「理念・目的」「教育目標（人材育成方針）」、D P、C Pを踏まえ、以下のように入学者受入れの方針を定める。

（A P 1）【求める学生像】

＜博士前期課程＞

学部で培った基礎・専門知識を基にして、博士前期課程では新たな科学技術の創造と活用に意欲的かつ継続的に取り組み、社会で幅広く活躍する技術者、研究者などを目指す人材の養成を目的としている。そのため、博士前期課程では、理工系学部諸分野の専門基礎知識を基にさらに高度の学識を求め、創造性豊かな研究活動能力を身に付け、持続可能な社会への貢献を望む人を歓迎する。

＜データ数理コース＞

- （１）日々進歩する多様なデータ数理分野において、最先端の幅広い知識の修得と高度な研究・開発手法の獲得を目指す人。
- （２）幅広い知識と先を見通す能力を身につけ、先導的なデータ数理分野の研究・開発をもって社会への貢献を目指す人。

＜コンピュータ科学コース＞

- （１）急速に発展するコンピュータ科学の最先端の技術に高い関心を持ち、当該分野の深い知識と高度な研究・開発手法の獲得を目指す人。
- （２）コンピュータ科学の幅広い分野において、高い技術的洞察力と研究・開発力を身につけ、情報化社会の発展と課題解決に資する情報技術の創出を牽引することにより社会に貢献したいと考える人。

＜機械システムコース＞

- （１）機械システムの技術の獲得とその応用に関心を持ち、実社会に役立てたいと考えている人
- （２）自ら目標を立て、自発的に学び、率先して行動することができ、実社会における機械システム研究・開発のリーダーを目指す人

＜電気電子コース＞

- （１）電気電子・機械制御・数値情報に関わる知識の修得、およびその多様な応用技術に興味を持つ人
- （２）次世代の社会・産業・情報基盤となる先端技術を創造し、国内外の様々な分野で活躍することを目指す人

＜応用化学コース＞

- （１）ライフイノベーション分野と、グリーンイノベーション分野の知識をより深く追及し、新規な物質の創成あるいはテクノロジーの開発を行いたいと考える人
- （２）人の命を尊び、生活の質を向上させ、人類の持続可能な未来のために、自らの知識や智慧を役立たせたいと考える人

＜博士後期課程＞

博士前期課程で培った高度な専門的学識と研究活動能力を基にして、博士後期課程では専門分野において自立して独創的な研究を遂行できる人材の養成を目的としている。そのため、博士前期課程修了もしくは同等水準の諸分野専門的学力を備えた上で、専門分野において自立した研究者を目指す人を歓迎する。

＜各コース共通＞

- （１）高い倫理観を持ち、専門分野における幅広い知識および専門的学識に基づく分析能力、問題解決能力を有する人。

(2) 専門分野において、高度で独創性のある研究を持続的にを行い、その成果の発表や表現を通じて専門分野の学問的発展に寄与する意欲と適性を有する人。

【A P 2】【入学者の選考方針】

＜博士前期課程・博士後期課程共通＞

入学者の選考に当たっては、本研究科と各コースの「求める学生像」を考慮しつつ、細心の注意を払って、公平かつ適正に選考を行う。

【A P 3】【大学院入学までに身に付けておくべき教科・科目等】

＜博士前期課程＞

博士前期課程の入学試験においては、全員が受験する英語の他に、理工学の基礎となる基礎選択科目（数学、物理、化学、生物から選択）と、各コースの柱となるコース選択科目（下記参照）を筆記試験として配置しており、それらの中からコースと志望研究室に最も関係の深い科目を選択受験することになる。また、面接試験を行い入学の適性を判断する。したがって、博士前期課程の入学にあたっては、各専門分野の基礎となる科目の十分な知識をもつとともに、広く世界や社会の動きに係わる一般常識的な知識を有することを求める。また、グローバル化した世界で活躍するための手段として必要な英語の文章読解力、表現力、コミュニケーション能力を求める。

＜データ数理コース＞

データ数理分野の基礎となる、データサイエンス、オペレーションズ・リサーチ、アルゴリズム理論の関連科目

＜コンピュータ科学コース＞

システムソフトウェア、情報ネットワーク、メディア技術分野を含むコンピュータ科学の基礎となる、プログラミング、ソフトウェア、情報通信方式、各種メディア処理の関連科目

＜機械システムコース＞

機械工学・情報通信技術を基盤としたものづくり分野の基礎となる数学・物理の関連科目

＜電気電子コース＞

電気電子・機械制御・数理情報分野において基礎となる数学・物理の関連科目

＜応用化学コース＞

ライフイノベーション分野と、グリーンイノベーション分野とその境界領域およびIT関連を含む理学及び工学関連科目

＜博士後期課程＞

＜全コース共通＞

博士後期課程の入学試験においては、面接及び口述試験を行い、学力、人物、研究計画等に基づき入学の適性を判断する。博士後期課程の入学にあたっては、専門分野の基礎知識や応用能力を有するだけでなく、研究成果を学会、研究会等で発表するためのプレゼンテーション能力と、学術論文として纏めるのに必要な文章表現力を求める。

理 工 学 研 究 科

一般入学試験（博士前期課程）

本研究科理工学専攻の博士前期課程における人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的は、次のとおりとする。

理工学の分野において、創造性豊かで優れた研究活動を行っていくための広い視野と深い知識の修得及び研究能力の涵養により、高度な専門知識をもって社会に貢献できる技術者または将来の研究者を養成することを目的とする。

本研究科理工学専攻におけるコースの設置及び各コースの目的は、次のとおりとする。

データ数理コース

データサイエンス、オペレーションズ・リサーチ、アルゴリズム理論を含む多様なデータ数理分野において、幅広い知識の修得と高度な研究手法の獲得により革新的科学技術の創造に挑む先導的な情報・数理関連技術者を養成すること又は研究者の素養を涵養することを目的とする。

コンピュータ科学コース

システムソフトウェア、情報ネットワーク、メディア技術分野を含むコンピュータ科学に関する深い知識と高度な研究手法の修得により、情報化社会の問題を解決する革新的科学技術の創造に挑む情報技術者を養成すること、又は研究者の素養を涵養することを目的とする。

機械システムコース

機械工学・情報通信技術を基盤としたものづくり技術の分野において、優れた研究・開発を行っていくための知識の修得及び研究・開発能力の獲得により、国内外で活躍できる創造性豊かな技術者を養成すること、又は研究者の素養を涵養することを目的とする。

電気電子コース

電気電子工学・機械制御工学・数理情報工学を基盤とした多様な分野において、高度な専門知識を修得し、国内外で活躍できる創造性豊かな技術者を養成すること、又は研究者の素養を涵養することを目的とする。

応用化学コース

健康・医療を拓くライフイノベーション分野と、持続可能な社会を拓くグリーンイノベーション分野の基礎知識と基礎技術を広く修得し、ITを活用した新たな科学技術の創造に挑む技術者を養成すること、又は研究者の素養を涵養することを目的とする。

1. 募 集 人 員

専 攻	コ ー ス	募 集 人 員
理工学専攻	データ数理コース コンピュータ科学コース 機械システムコース 電気電子コース 応用化学コース	70名（※コースに定員は設けない）

2. 出 願 資 格

次の各号のいずれかに該当する者、又は2026年 3月 31日までに該当する見込みの者

1. 修業年限4年以上の大学を卒業した者
2. 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者
3. 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
4. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
5. 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
6. 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することも含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
7. 専修学校の専門課程（修業年限が4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
8. 文部科学大臣が指定した者
9. 大学に3 年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
10. 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者

（注1）前記3. 及び 4. で出願する場合は、学士学位を取得している、又は取得見込みである必要があります。

（注2）外国籍の者は、P.19 を確認してください。

3. 出 願 手 続

- (1) 期 日 第1期 2025 年 8 月 20 日 (水) ～ 8 月 28 日 (木)
 第2期 2026 年 1 月 8 日 (木) ～ 1 月 27 日 (火)

- (2) 提出先 成蹊大学アドミッションセンター
 〒180-8633 東京都武蔵野市吉祥寺北町3-3-1

(3) 提出書類

出願者は、入学検定料 (35,000円) を銀行窓口で払い込んだ後、窓口で返却された入学検定料振込通知書の受付銀行領収印を確認の上、次の書類を一括して提出してください。

出願の際は、市販の封筒 (角2サイズ) を準備し、所定の宛名シートを貼付して提出してください。郵送の場合、必ず、簡易書留郵便で送付してください (出願締切日必着)。

書類を窓口を持参する場合、学園休業日は窓口を閉室しているので、注意してください。

1. 志願票 (所定様式)
2. 入学検定料振込通知書【大学提出用】 (所定様式)
3. 調査書 (所定様式) (成蹊大学理工学部 の在籍者は不要) ※指導教員 (出身大学) が厳封したもの
4. 調査票 (所定様式) (成蹊大学理工学部 の在籍者は不要)
5. 出身大学の成績証明書 (成蹊大学理工学部 の在籍者は不要)
6. 出身大学の卒業 (見込) 証明書 (日本の大学を卒業または卒業見込みの者)
(成蹊大学理工学部 の在籍者は不要)
7. 出身大学の学士学位取得 (見込) 証明書 (外国の大学を卒業または卒業見込みの者)
8. 住民票 (外国籍の者のみ提出 (「国籍・地域」「在留資格」「在留期間の満了の日」を明示すること)、受験用の短期滞在査証の者はパスポートのコピー)
9. 住所シート (所定様式、自己の住所氏名を記入すること)
10. TOEIC® L&R の公式認定証原本 [TOEIC-IP 等団体テストのスコアレポートは不可。入学試験日から遡って3年以内に受験したもの。2024年4月以降に実施の公開テストのスコアを提出する場合は、デジタル公式認定証をPDFでダウンロードの上、印刷したものを提出してください。]

(注) 外国の大学を卒業または卒業見込みの者は、P. 20 を確認してください。

<受験票について>

受験票は、試験1週間前ごろまでに、成蹊大学アドミッションセンターから、出願時に提供された住所シート (所定様式、自己の住所氏名を記入したもの) を使用して、郵便で送付します。時期を過ぎても届かない場合は、問い合わせてください。

(4) 入学資格審査

前記「2. 出願資格」の 10. に該当し、個別の入学資格審査を希望する者は、成蹊大学アドミッションセンターに連絡してください。申請書と調書 (ともに所定様式) のほか、必要な書類 (最終学歴の卒業証明書、成績証明書、卒業論文、実務経験の履歴・業績、申請者の学力を証明できるもの等) をそろえて、出願手続締切日の2か月前までに成蹊大学アドミッションセンターに送付してください (外国の学校を卒業または卒業見込みの者は、書類提出にあたっては前項の (注3) に準じること)。

4. 試 験 期 日

- 第1期 2025 年 9 月 5 日 (金)
第2期 2026 年 2 月 25 日 (水)

5. 選 考 方 法

試験科目	配点	試験時間	備 考
英 語	100	—	TOEIC スコアによる（下欄参照）
コース選択科目	300	10 : 30～ 12 : 00	各コース、5問の中から3問を選択する。
			DM 基礎数学（微積分学、線形代数学）、C++プログラミング、数理計画法、確率統計、アルゴリズムとデータ構造
			CS 基礎数学（微積分学、線形代数学）、C++プログラミング、コンピュータ基礎、確率統計、アルゴリズムとデータ構造 ※注記
			MS 線形数学、微積分、応用数学、電磁気学、力学 ※注記
			EE 線形数学、微積分、応用数学、電磁気学、力学 ※注記
			AC 生化学、分析化学、無機化学、有機化学、物理化学 ※注記
面 接	—	13 : 30～	学力、人物

DM：データ数理コース、CS：コンピュータ科学コース、MS：機械システムコース、

EE：電気電子コース、AC：応用化学コース

※(CS)コンピュータ科学コース選択科目には「C++プログラミング」および「コンピュータ基礎」を含むこと。

※(MS)機械システムコース選択科目には「力学」を含むこと。

※(EE)電気電子コース選択科目には「電磁気学」を含むこと。

※(AC)試験中に『関数電卓（通信機能のないもの）』の使用を認める。

TOEIC スコアから英語点数への換算方法は、以下のとおりです。

- ・ TOEIC スコアが 150 点以下の場合は、英語点数を 0 点とする。
- ・ TOEIC スコアが 850 点以上の場合は、英語点数を 100 点とする。
- ・ TOEIC スコアが 150 点以上 850 点以下の場合は、次式（a）により得られる値（小数点以下第一位を四捨五入）を英語点数とする。 $(\text{TOEIC スコア} - 150) \div 7 \cdots \cdots (a)$

6. 合 格 者 発 表

第 1 期 2025 年 9 月 17 日（水）10 : 00

第 2 期 2026 年 3 月 6 日（金）10 : 00

発表方法 合格者発表は「合格証」の郵送により行います。合格者には「合格証」を合格者発表日に速達郵便で郵送します。また、合格者発表の補助的な手段として、本学入試情報サイト S-NET で可否を確認することができます。

7. 入 学 手 続

(1) 入学手続期間 2026 年 3 月 6 日（金）～ 3 月 13 日（金）

(2) 入学手続納付金の納入方法等の詳細は、合格者に別途お知らせします。

入学手続書類は、第 1 期の合格者は 2 月下旬に、第 2 期の合格者は合格発表日に発送します。

○修 業 年 限

標準修業年限は、博士前期課程は 2 年です。

○注 意 事 項

1. P. 18 のコース一覧は、2026 年 4 月現在（予定）のものです。
2. 受理した書類の返却及び出願後の入学検定料の返金はしません。
3. 受験者は、試験開始 10 分前までに受験票を携帯のうえ、試験場に入室してください。
4. 試験開始から 20 分以上遅刻した者は、特別の事情がない限り、受験資格を失うので注意してください。
5. 入学手続期間内に入学手続を完了しない者は、入学を辞退したものとして取り扱います。

理 工 学 研 究 科

一般入学試験（博士後期課程）

本研究科理工学専攻の博士後期課程における人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的は、次のとおりとする。

理工学の分野において、高い倫理観と創造性豊かな優れた研究・開発能力を持つ研究者を養成することを目的とする。

本研究科理工学専攻におけるコースの設置及び各コースの目的は、次のとおりとする。

データ数理コース

データサイエンス、オペレーションズ・リサーチ、アルゴリズム理論を含む多様なデータ数理分野において、多元的な視点で先導的な立場に立ち、高い倫理観を持つ発想豊かな研究者を養成することを目的とする。

コンピュータ科学コース

システムソフトウェア、情報ネットワーク、メディア技術分野を含むコンピュータ科学に関する深い知識と高い専門性を習得し、優れた独創性と高い倫理観をもって、情報化社会の問題を解決する先端技術の研究・開発を先導する研究者を養成することを目的とする。

機械システムコース

機械工学・情報通信技術を基盤としたものづくり技術の分野において、優れた研究・開発知識や能力を活用し、リーダーシップと協調性をもって社会課題を解決し、高度な専門知識と高い倫理観を持って社会に貢献できる研究者を養成することを目的とする。

電気電子コース

電気電子工学・機械制御工学・数理工学を基盤とした多様な分野において、研究・開発に関わる広い専門知識・高度な応用力・高い倫理観をもって国際社会に貢献できる独創性に優れた研究者を養成することを目的とする。

応用化学コース

健康・医療を拓くライフイノベーション分野と、持続可能な社会を拓くグリーンイノベーション分野において、多元的な視点を持って革新的科学技術の創造に挑む研究者を養成することを目的とする。

1. 募 集 人 員

専 攻	コ ー ス	募 集 人 員
理工学専攻	データ数理コース コンピュータ科学コース 機械システムコース 電気電子コース 応用化学コース	10名 ※コースに定員は設けない

2. 出 願 資 格

次の各号のいずれかに該当する者、または 2026年 3月 31日までに該当する見込みの者

1. 修士の学位または専門職学位を有する者
2. 外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
3. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
4. 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であつて、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
5. 文部科学大臣が指定した者
6. 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達した者

(注2) 外国籍の者は、P.19を確認してください。

3. 出 願 手 続

- (1) 期 日 第1期 2025 年 8 月 20 日 (水) ～ 8 月 28 日 (木)
 第2期 2026 年 1 月 8 日 (木) ～ 1 月 27 日 (火)

- (2) 提出先 成蹊大学アドミッションセンター
 〒180-8633 東京都武蔵野市吉祥寺北町3-3-1

(3) 提出書類

出願者は、入学検定料 (35,000 円) を銀行窓口で払い込んだ後、窓口より返却された入学検定料振込通知書の受付銀行領収印を確認の上、次の書類を一括して提出してください。

出願の際は、市販の封筒 (角 2 サイズ) を準備し、所定の宛名シートを貼付して提出してください。

郵送の場合、必ず、簡易書留郵便で送付してください (出願締切日必着)。

書類を窓口を持参する場合、学園休業日は窓口を閉室しているので、注意してください。

1. 志願票 (所定式)
2. 入学検定料振込通知書【大学提出用】 (所定様式)
3. 出身大学及び大学院の成績証明書 (成蹊大学大学院理工学研究科在籍者は不要)
4. 出身大学院の修了 (見込) 証明書 <日本の大学院を修了または修了見込みの者>
(成蹊大学大学院理工学研究科在籍者は不要)
5. 出身大学院の学位取得 (見込) 証明書 <外国の大学院を修了または修了見込みの者>

6. 調査書（所定様式）（成蹊大学大学院理工学研究科在籍者は不要）

※指導教員（出身大学大学院）が厳封したもの

7. 調査票（所定様式）（成蹊大学大学院理工学研究科在籍者は不要）

8. 住民票（外国籍の者のみ提出（「国籍・地域」「在留資格」「在留期間の満了の日」を明示すること）、受験用の短期滞在査証の者はパスポートのコピー）

9. 住所シート（所定様式、自己の住所氏名を記入すること）

（注）外国の大学院を修了または修了見込みの者は、P. 24を確認してください。

＜受験票について＞

受験票は、試験1週間前ごろまでに、成蹊大学アドミッションセンターから、出願時に提供された住所シート（所定様式、自己の住所氏名を記入したもの）を使用して、郵便で送付します。時期を過ぎても届かない場合は、問い合わせてください。

（4）入学資格審査

前記「2. 出願資格」の6. に該当し、個別の入学資格審査を希望する者は、成蹊大学アドミッションセンターに連絡してください。申請書と調書（ともに所定様式）のほか、必要な書類（最終学歴の卒業証明書、成績証明書、卒業論文、実務経験の履歴・業績、申請者の学力を証明できるもの等）をそろえて、出願手続締切日の2か月前までに成蹊大学アドミッションセンターに送付してください（外国の学校を修了または修了見込みの者は、書類提出にあたっては前項の（注）に準じること）。

4. 試験 期 日

第1期 2025 年 9 月 5 日（金）

第2期 2026 年 2 月 25 日（水）

5. 選 考 方 法

試験 時 間	試験 科 目	備 考
10：00～12：00	面接及び口述試験	学力、研究概要のプレゼンテーション

6. 合 格 者 発 表

第1期 2025 年 9 月 17 日（水）10：00

第2期 2026 年 3 月 6 日（金）10：00

発表方法 合格者発表は「合格証」の郵送により行います。合格者には「合格証」を合格者発表日に速達郵便で郵送します。また、合格者発表の補助的な手段として、本学入試情報サイト S-NET で可否を確認することができます。

7. 入 学 手 続

（1）入学手続期間 2026 年 3 月 6 日（金）～ 3 月 13 日（金）

（2）入学手続納付金の納入方法等の詳細は、合格者に別途お知らせします。

入学手続書類は、第1期の合格者は2月下旬に、第2期の合格者は合格発表日に発送します。

○修 業 年 限

標準修業年限は、博士後期課程は3年です。

○注 意 事 項

1. P.18のコース一覧は、2026年4月現在（予定）のものです。
2. 受理した書類の返却及び出願後の入学検定料の返金はしません。
3. 受験者は、試験開始10分前までに受験票を携帯のうえ、試験場に入室してください。
4. 試験開始から20分以上遅刻した者は、特別の事情がない限り受験資格を失うので注意してください。
5. 入学手続期間内に入学手続を完了しない者は、入学を辞退したものとして取り扱います。

理 工 学 研 究 科

社会人特別選抜（博士前期課程）（博士後期課程）

○社会人特別入学制度について

趣 旨 本研究科における社会人入学制度は、現在広く社会において活躍されている方々を対象とし、リフレッシュ教育、生涯教育を積極的に推進することを目的としたものです。これにより修士、博士の学位取得への道を多様化するとともに、企業における研究と大学における研究との相補的な面を生かすことができます。

原則として2年以上勤務経験のある方々を対象にしており、在勤のままでも、休職、退職した方でも出願できます。選考は書類審査、面接及び口述試験により行い、学力、研究能力を総合的に判断して合格者を決定します。

また、授業時間についても担当教授と相談の上、配慮することがあり、社会人も科目の履修がしやすくなっていますので、積極的に応募されることを期待しています。

1. 募 集 人 員

課 程	専 攻	コ ー ス	募 集 人 員
博士前期課程 博士後期課程	理工学専攻	データ数理コース コンピュータ科学コース 機械システムコース 電気電子コース 応用化学コース	若干名

2. 出 願 資 格

(1) 博士前期課程

2025年4月1日現在、下記の1～10のいずれかと11に該当している者。

1. 修業年限4年以上の大学を卒業した者
2. 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者
3. 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
4. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
5. 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
6. 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府または関係機関の認証を受けた者による評価を受けたものまたはこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者

7. 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
8. 文部科学大臣が指定した者
9. 大学に3年以上在学し、または外国において学校教育における15年の課程を修了し本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
10. 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者
11. 原則として各種研究機関、教育機関または企業等で2年以上勤務した経験がある者

（注1）前記3.及び4.で出願する場合は、学士学位を取得している必要があります。

（注2）外国籍の者は、P.19を確認してください。

(2) 博士後期課程

2025年4月1日現在、下記の1～6のいずれかと7に該当している者。

1. 修士の学位または専門職学位を有する者
2. 外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
3. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
4. 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
5. 文部科学大臣が指定した者
6. 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同程度の学力があると認めた者で、24歳に達した者
7. 原則として各種研究機関、教育機関または企業等で2年以上勤務した経験がある者

（注）外国籍の者は、P.19を確認してください。

(3) 入学資格審査

前記「2. 出願資格」の（1）博士前期課程 10. または（2）博士後期課程 6. に該当し、個別の入学資格審査を希望する者は、成蹊大学アドミッションセンターに連絡してください。申請書と調書（ともに所定様式）のほか、必要な書類（最終学歴の卒業証明書、成績証明書、卒業論文、実務経験の履歴・業績、申請者の学力を証明できるもの等）をそろえて、出願手続締切日の2か月前までに成蹊大学アドミッションセンターに送付してください（外国の学校を卒業（修了）または卒業見込み（修了見込み）の者は、書類提出にあたっては次項の（注）に準じること）。

3. 出 願 手 続

- (1) 期 日 第1期 2025年8月20日（水）～ 8月28日（木）
 第2期 2026年1月 8日（木）～ 1月27日（火）

- (2) 提出先 成蹊大学アドミッションセンター
 〒180-8633 東京都武蔵野市吉祥寺北町3-3-1

(3) 提出書類

出願者は、入学検定料（35,000円）を銀行窓口で払い込んだ後、窓口より返却された入学検定料振

込通知書の受付銀行領収印を確認の上、次の書類を一括して提出してください。

出願の際は、市販の封筒（角2サイズ）を準備し、所定の宛名シートを貼付して提出してください。郵送の場合、必ず、簡易書留郵便で送付してください（出願締切日必着）。

書類を窓口を持参する場合、学園休業日は窓口を閉室しているので、注意してください。

1. 志願票（所定様式）
2. 入学検定料振込通知書【大学提出用】（所定様式）
3. 成績証明書
4. 博士前期課程志願者は出身大学のもの
5. 博士後期課程志願者は出身大学及び出身大学院のもの
6. 卒業（修了）証明書
7. 博士前期課程志願者は出身大学のもの 博士後期課程志願者は出身大学院のもの
6. 学位取得証明書〈外国の大学（大学院）を卒業（修了）した者〉
9. 調査書（所定様式）※指導教員（出身大学・大学院）が厳封したもの
10. 調査票（所定様式）
11. 住民票（外国籍の者のみ提出（「国籍・地域」「在留資格」「在留期間の満了の日」を明示すること）、受験用の短期滞在査証の者はパスポートのコピー）
12. 住所シート（所定様式、自己の住所氏名を記入すること）

（注）外国の大学（大学院）を卒業（修了）した者は、P. 20 を確認してください。

<受験票について>

受験票は、試験1週間前ごろまでに、成蹊大学アドミッションセンターから、出願時に提供された住所シート（所定様式、自己の住所氏名を記入したもの）を使用して、郵便で送付します。時期を過ぎても届かない場合は、問い合わせてください。

4. 試験 期 日

第1期 2025 年 9 月 5 日（金）

第2期 2026 年 2 月 25 日（水）

5. 選 考 方 法

博士前期課程

試験 時 間	試験 科 目	備 考
13：30～	面 接	学力、人物

博士後期課程

試験 時 間	試験 科 目	備 考
10：00～12：00	面接及び口述試験	学力、研究概要のプレゼンテーション

6. 合格者発表

第1期 2025 年 9 月 17 日（水）

第2期 2026 年 3 月 6 日（金）

発表方法 合格者発表は「合格証」の郵送により行います。合格者には「合格証」を合格者発表日に速達郵便で郵送します。また、合格者発表の補助的な手段として、本学入試情報サイト S-NET で可否を確認することができます。

7. 入学手続

(1) 入学手続期間 2026 年 3 月 6 日（金）～ 3 月 13 日（金）

(2) 入学手続納付金の納入方法等の詳細は、合格者に別途お知らせします。

入学手続書類は、第1期の合格者は2月下旬に、第2期の合格者は合格発表日に発送します。

○修業年限

標準修業年限は、博士前期課程は2年、博士後期課程は3年です。

○一般的注意事項

1. P.18のコース一覧は、2026年4月現在（予定）のものです。
2. 受理した書類の返却及び出願後の入学検定料の返金はしません。
3. 受験者は、試験開始 10 分前までに受験票を携帯のうえ、試験場に入室してください。
4. 試験開始から 20 分以上遅刻した者は、特別の事情がない限り受験資格を失うので注意してください。
5. 入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は、入学の許可が無効となります。

コース一覧

○所属を希望する研究室が指定するコースを受験して下さい。

データ数理コース			
オペレーションズ・リサーチ研究室	関谷 和之 教授 (前期・後期指導)	博士(経営工学)	
学習型知覚データ処理研究室	村松 大吾 教授 (前期・後期指導)	博士(工学)	
アルゴリズム応用研究室	清見 礼 教授 (前期・後期指導)	博士(情報学)	
データサイエンス研究室	小森 理 教授 (前期・後期指導)	博士(統計科学)	
画像センシング研究室	中野 和也 教授 (前期指導・後期授業)	博士(工学)	
※画像センシング研究室は、コンピュータ科学コースも指定している。			
知能数理研究室	松田 源立 准教授 (前期指導・後期授業)	博士(学術)	
アルゴリズム論研究室	山本 真基 准教授 (前期指導・後期授業)	博士(理学)	
数理最適化研究室	奥野 貴之 准教授 (前期指導・後期授業)	博士(情報学)	
ナノ物性研究室	門内 隆明 講師 (前期指導)	博士(理学)	
※ナノ物性研究室は、機械システムコースも指定している。			

コンピュータ科学コース			
知的インタフェース研究室	中野有紀子 教授 (前期・後期指導)	博士 (情報理工学)	
コンピュータシステム研究室	岡本 秀輔 教授 (前期・後期指導)	博士(工学)	
音声情報研究室	世木 寛之 教授 (前期・後期指導)	博士(工学)	
言語情報研究室	酒井 浩之 教授 (前期・後期指導)	博士(工学)	
情報通信ネットワーク研究室	鎌村 星平 教授 (前期指導・後期授業)	博士 (国際情報通信学)	
画像センシング研究室	中野 和也 教授 (前期指導・後期授業)	博士(工学)	
※画像センシング研究室は、データ数理コースも指定している。			
プログラミング言語研究室	千代英一郎 准教授 (前期指導・後期授業)	博士 (情報理工学)	

機械システムコース			
流体力学研究室	小川 隆申 教授 (前期・後期指導)	博士(工学)	
知能機械研究室	小方 博之 教授 (前期・後期指導)	博士(工学)	
材料力学研究室	酒井 孝 教授 (前期・後期指導)	博士(工学)	
振動音響制御研究室	岩本 宏之 教授 (前期・後期指導)	博士(工学)	
スマートニューロリハビリテーション研究室	櫻田 武 教授 (前期指導)	博士(工学)	
ヒューマンファクター研究室	竹本 雅憲 准教授 (前期指導)	博士(工学)	
熱・エネルギー研究室	西尾 悠 准教授 (前期授業)	博士(工学)	
産業人間工学研究室	菅間 敦 准教授 (前期指導)	博士(工学)	
ナノ物性研究室	門内 隆明 講師 (前期指導)	博士(理学)	
※ナノ物性研究室は、データ数理コースも指定している。			

電気電子コース			
電子材料プロセス研究室	中野 武雄 教授 (前期・後期指導)	博士(工学)	
ロボティクス研究室	柴田 昌明 教授 (前期・後期指導)	博士(工学)	
プラズマエネルギーデザイン研究室	村上 朝之 教授 (前期・後期指導)	博士(工学)	
パワーエレクトロニクス研究室	茂木 進一 教授 (前期指導)	博士(工学)	
データ駆動計測研究室	青柳 里果 教授 (前期・後期指導)	博士(工学)	
超伝導研究室	三浦 正志 教授 (前期・後期指導)	博士(工学)	
情報メカトロニクス研究室	竹園 年延 准教授 (前期指導)	博士(工学)	

応用化学コース			
バイオエレクトロニクス研究室	鈴木 誠一 教授 (前期・後期指導)	医学博士	
環境材料化学研究室	里川 重夫 教授 (前期・後期指導)	博士(工学)	
細胞分子デバイス研究室	久富 寿 教授 (前期・後期指導)	博士(農学)	
電気化学研究室	齋藤 守弘 教授 (前期指導・後期授業)	博士(工学)	
有機化学研究室	横山 明弘 教授 (前期・後期指導)	博士(薬学)	
生体分子化学研究室	戸谷希一郎 教授 (前期・後期指導)	博士(工学)	
生命機能化学研究室	岡本 亮 准教授 (前期授業)	博士(理学)	

講義科目担当教員		
小川 貴宏	教授	応用言語学修士 文学修士
浅野 雅子	教授	博士(理学)
稲垣 昭子	教授	博士(工学)
山野井 瞳	准教授	博士(理学)
丸吉 一暢	准教授	博士(理学)

※「画像センシング研究室」は、データ数理コース、または、コンピュータ科学コースを指定しています。どちらかのコースを受験して下さい。

※「ナノ物性研究室」は、データ数理コース、または、機械システムコースを指定しています。どちらかのコースを受験して下さい。

外国籍を有する受験生の方へ

- 出願時に下記のいずれかに該当する場合は、第2期入学試験に出願できません。
※第1期のみ、出願できます。

- ・在留資格が「短期滞在」である
- ・入学時（2026年 4月 1日）以降の在留資格を有していない

第1期入学試験合格者の入学手続期間は、入学時（2026年4月1日）以降の在留資格を有していない場合、合格発表日から2025年11月28日（金）（消印有効）までです。この期間中に、入学金を含む納付金の納入と、入学手続書類の提出を完了してください。
なお、入学手続に関する書類等は、合格証と一緒に郵送します。

- 受験票、合格証、入学手続書類等は、本学アドミッションセンターから海外に郵送することとはできません。海外に在住している方は、日本国内の代理人による書類の提出及び受け取りでも問題ありません。

不明な点がありましたら、成蹊大学アドミッションセンターに問い合わせてください。

外国の大学(大学院)を卒業・修了(見込)の場合の「学位取得(見込)証明書・成績証明書」について

■学位取得(見込)証明書について

下表を参照し、対応する証明書(いずれか1つ)を提出してください。

出身大学が発行する証明書の種類	提出物
英文または和文の学位取得(見込)証明書 (中国の大学を含む)	・出身大学の学位取得(見込)証明書
英文または和文以外の学位取得(見込)証明書 (中国の大学)	次の①または②を提出すること ①・左記の学位取得(見込)証明書 ・公証処が証明した英語の訳文の原本 ②・ <u>中国高等教育学生信息网(CHSI)</u> による認証 ※1
英文または和文以外の学位取得(見込)証明書 (中国以外の大学)	・出身大学の左記の学位取得(見込)証明書 (英文または和文以外の言語) ・大使館で証明済みの英語訳または日本語訳

※1 中国高等教育学生信息网(CHSI)が発行する英文の「Online Verification Report of Higher Education Degree Certificate」のコピーを出願書類に同封するとともに、出願締切日までに、CHSI から直接、電子認証報告メールが成蹊大学アドミッションセンター(gs-nyushi@ms.seikei.ac.jp)に送信されるように申請してください。

■成績証明書について

下表を参照し、対応する証明書(いずれか1つ)を提出してください。

出身大学が発行する証明書の種類	提出物
英文または和文の成績証明書 (中国の大学を含む)	・出身大学の成績証明書
英文または和文「以外」の成績証明書 (中国の大学)	次の①または②のいずれかの証明書 ①・左記の成績証明書 ・公証処が証明した英語の訳文の原本 ②・ <u>中国高等教育学生信息网(CHSI)</u> が発行する 英文または和文の成績証明書 ※2
英文または和文以外の成績証明書 (中国以外の大学)	・出身大学の左記の成績証明書 (英文または和文以外の言語) ・大使館で証明済みの英語訳または日本語訳

※2 中国高等教育学生信息网(CHSI)の日本代理機構「中国学歴・学籍認証センター 日本代理機構」で英語による証明を請求し、成蹊大学アドミッションセンターに直送する申請手続きを行ってください。「中国学歴・学籍認証センター 日本代理機構」のホームページ <http://www.chsi.jp/> または、中国高等教育学生信息网(CHSI)が発行する英文の「Verification Report of China Higher Education Student's Academic Transcript」のコピーを出願書類に同封するとともに、出願締切日までに、電子認証報告メールが、CHSI から直接成蹊大学アドミッションセンター(gs-nyushi@ms.seikei.ac.jp)に届くように手続きをしてください。

○ 納 付 金（2026 年度）

◎ 博士前期課程

理工学研究科

項 目	前 期 (入学手続時)	後 期 (10 月)	年 額
入 学 金	200,000 円		200,000 円
授 業 料	385,000 円	385,000 円	770,000 円
施 設 費	150,000 円	150,000 円	300,000 円
設 備 費	57,500 円	57,500 円	115,000 円
合 計	792,500 円	592,500 円	1,385,000 円

経済経営研究科、法学政治学研究科、文学研究科

項 目	前 期 (入学手続時)	後 期 (10 月)	年 額
入 学 金	200,000 円		200,000 円
授 業 料	275,000 円	275,000 円	550,000 円
施 設 費	57,500 円	57,500 円	115,000 円
設 備 費	15,000 円	15,000 円	30,000 円
合 計	547,500 円	347,500 円	895,000 円

◎ 博士後期課程

理工学研究科

項 目	前 期 (入学手続時)	後 期 (10 月)	年 額
入 学 金	200,000 円		200,000 円
授 業 料	315,000 円	315,000 円	630,000 円
施 設 費	150,000 円	150,000 円	300,000 円
設 備 費	57,500 円	57,500 円	115,000 円
合 計	722,500 円	522,500 円	1,245,000 円

経済経営研究科、法学政治学研究科、文学研究科

項 目	前 期 (入学手続時)	後 期 (10 月)	年 額
入 学 金	200,000 円		200,000 円
授 業 料	235,000 円	235,000 円	470,000 円
施 設 費	57,500 円	57,500 円	115,000 円
設 備 費	15,000 円	15,000 円	30,000 円
合 計	507,500 円	307,500 円	815,000 円

3 月末日（必着）までに辞退の理由を付した「入学辞退届」を提出した場合には、入学金を除く既納の納付金を返還いたします。

（ただし、返還に係る振込手数料は返還額から差し引かせていただきます。）

◎ 一般社団法人成蹊会（同窓会）関連納入金について（博士前期課程・博士後期課程）

成蹊大学大学院生は卒業と同時に一般社団法人成蹊会（成蹊学園創立以来の卒業生で組織された同窓会）の会員となります。皆様には入学年度後期の学費納入時に、入会金 36,600 円の納入をお願いしております（成蹊高等学校及び成蹊大学卒業生、成蹊大学大学院修了生で既に入会金、会費を納入いただいている方は対象となりません）。

○ 奨学金制度

本学大学院学生に対して、次のような奨学金制度があります。

2025 年 4 月現在

制度名	種別	奨学金額	応募資格
成蹊大学大学院奨学金（A種）	給付	年額 納付金の 2 分の 1 額	博士後期課程の 2 年次生以上で、学業・人物ともに優秀な者全員（※ 1）
成蹊大学大学院奨学金（B種）	給付	年額 納付金の 4 分の 1 額	博士前期課程の 2 年次生以上で、学業・人物ともに優秀な者全員（※ 1）（※ 2）
関育英奨学金	給付	年額 120,000 円	理工学研究科で、電気・原子力関係専攻の大学院生（※ 3）
関彰育英会奨学金	給付	月額 50,000 円	博士前期課程 1 年次生（※ 3）
日揮・実吉奨学会奨学金	給付	年額 400,000 円	理工学研究科博士前期課程 1 年次生（※ 3）
オーディオテクニカ奨学金	給付	月額 20,000 円	理工学研究科博士前期課程 1 年次生（※ 3）
エフテック奨学財団奨学金	給付	月額 30,000 円	博士前期課程 1 年次生（※ 3） 博士後期課程 1 年次生（※ 3）
成蹊会育英奨学金	給付	月額 40,000 円（給付）	大学院博士前期課程 1 年次生（※ 3） 貸与奨学金対象の地方出身者には生活支援制度（月額 3 万円給付）あり
	貸与	月額 50,000 円（無利子貸与）	
日本学生支援機構大学院第一種奨学金〈無利子〉	貸与	博士前期 月額 50,000 円・88,000 円 博士後期 月額 80,000 円・122,000 円	大学院生（※ 3）（※ 4）
日本学生支援機構大学院第二種奨学金〈有利子〉	貸与	月額 50,000 円・80,000 円・100,000 円・130,000 円・150,000 円の中から選択	大学院生（※ 3）

※ 1 対象者は最短修業年限までの者で、成蹊大学私費外国人留学生授業料等減免に関する規則による授業料等納付金の減免を受けた者は除く。

※ 2 長期履修者については博士前期 3 年次生以上で、給付年額は納付金の 8 分の 1 額とする。

※ 3 応募制の奨学金

※ 4 「博士前期課程における授業料後払い制度」「特に優れた業績による奨学金返還免除制度の内定制度」については、学生支援事務室にお問合せください。

○ 教育補助員制度

成蹊大学では、本学大学院生が教員の指導・助言の下に、学部及び博士前期課程における実験・実習・演習等授業科目の教育補助業務に従事することができる制度を設けています。この制度は、本学における教育効果をより一層高めるとともに、大学院生が教育実践の場を経験するための貴重な機会を提供することを目的としています。

2024 年度は 73 名が採用されました。

○ 学会発表等に対する助成

成蹊大学では、本学大学院に在学する学生の研究成果の学会発表及び学会参加を奨励し、これにより学術研究の促進を図ることを目的として、次の助成を行っています。

なお、助成金の交付は、学生 1 人につき毎年度 1 回とし、国内で開催される学会の場合、東京都、千葉県、神奈川県及び埼玉県である場合は助成の対象となりません。

【学会発表助成】

個人研究または共同研究の成果を国内外で開催される学会で登壇して発表し、または報告する本大学院に在学する学生を対象とし、次の助成金が交付されます。

交通費：往復交通費の実費（25,000 円を限度）

宿泊費：1 泊 7,000 円（2 泊を限度）

なお、国外で開催される学会の場合は、国際航空運賃・宿泊等の総額 70,000 円を限度に助成されます。

【学会参加助成】

国内外で開催される学会に参加する理工学研究科を除く本大学院に在学する学生を対象とし、学会発表助成の基準に基づいて総額 20,000 円を限度に助成されます。

○ 私費外国人留学生授業料等減免制度

成蹊大学では、私費外国人留学生に対し、授業料、施設費、設備費の合計額を最大 50%減免する制度を設けています。修業年限内であれば、毎年度、授業料等の減免の申請が行えます。

○ 問い合わせ先メールアドレス

大学院入試に関することや提出物等に関する質問は、下記メールアドレスに連絡してください。

gs-nyushi@ms.seikei.ac.jp

成蹊大学大学院 理工学研究科 理工学専攻 志願票

2026年度

受験 番号										
該当する番号を○で囲む										
1. 一般入学試験			1. データ数理コース 2. コンピュータ科学コース 3. 機械システムコース				1. 博士前期課程			
2. 社会人特別選抜			4. 電気電子コース 5. 応用化学コース				2. 博士後期課程			
フリガナ									性 別	
※1 氏 名 (漢字)									男	
※2 英字									女	
生年月日	西暦	年	月	日				国籍		
メールアドレス										
本人連絡先 現住所	〒 TEL — —									
出 願 資 格	年 月	大学	学部	学科	卒業 卒業見込			卒業 卒業見込		
		大学院	研究科	専攻	博士前期(修士)課程			修了 修了見込		
本学在学生用		学籍番号				指導教員				
履 歴										
学 歴	年 月	高等学校 中等教育学校					卒業 卒業見込			
	年 月	大学					学部 卒業 卒業見込			
	年 月	大学院	研究科	専攻	博士前期(修士)課程			修了 修了見込		
職 歴	年 月									
	年 月									
	年 月									
※3 職 業	勤 務 先									
	所 在 地									
	職 種									
上記のとおり相違ありません										
年 月 日 氏名										

写 真 貼 付

- ・上半身脱帽
- ・最近3ヶ月以内に撮影のもの
- ・縦4cm、横3cm枠なし
- ・全面糊付のこと
- ・写真の裏面に氏名を記入

※1 外国籍の場合、漢字氏名があれば記入してください。

※2 外国籍の場合のみ記入してください。パスポートの記載通りに、ローマ字氏名を、姓 (Surname)、名 (Given Name)、ミドルネーム (Middle Name) の順で記入してください。

※3 社会人特別入学制度による出願者のみ記入のこと。

[注意]

・太枠内は全て記入してください。

・写真は入学が許可された場合、学生証等の写真になります。

調查書

[illegible]

※ 出願書類に記載された個人情報に関しては、入学試験実施のために使用するものであって、それ以外の目的には一切使用いたしません。

注：指導教員が退職している場合は、卒業大学の学部や学科の責任者等、大学関係者が代理記入したものでも可とします。

2026年度 成蹊大学大学院 理工学研究科 調査票

受験番号	
氏 名	
志望コース	・ データ数理コース ・ コンピュータ科学コース ・ 機械システムコース ・ 電気電子コース ・ 応用化学コース (いずれかを丸印で囲んで下さい)

入学後に希望する 配属研究室	(第一希望) _____ (第二希望) _____ (第三希望) _____
第一希望の配属研究室 における希望研究テーマ (400 字程度)	

希望研究室の研究分野に対応した研究テーマについて、これまでのご自身の学修履歴を踏まえて記述して下さい。

(宛名シート)

1 8 0 - 8 6 3 3

切手
貼付

東京都武蔵野市吉祥寺北町3-3-1

成蹊大学アドミッションセンター一行
(大学院入学志願書在中)

簡易書留

志望課程・専攻	博士	期課程	研究科	専攻
現住所 電話	〒 TEL			
氏名				

— 速 達 —

			—				
--	--	--	---	--	--	--	--

住所シート
(太枠内を必ず記入してください)

住所	

氏名(フリガナ)	
()様	

志望課程・専攻		博士	期課程	研究科	専攻
電話		— —			

大学使用欄	
大学院関係書類	受験番号
☐ 受験票	
☐ 合格証	
☐ 入学手続書類	
在 中	

2026年度

入学検定料の納入について

- この振込用紙の①～③の各票※欄にボールペンで記入のうえ、必ず銀行窓口にて電信扱で振込んでください。
なお、国内の三菱UFJ銀行の本支店から振込む場合は、手数料は不要です。
- 受付銀行からは、領収印の押印された「①入学検定料振込通知書」と「②入学検定料振込金領収書」を必ず受領してください。
- 出願手続の際は、領収印を確認のうえ「①入学検定料振込通知書」を提出してください。振込通知書が提出されていない場合は志願書の受付はできません。また、日付印のないものも無効です。
- 出願を受理した後は、納付した検定料の返還はできません。

大学提出用

2026年度

①入学検定料振込通知書

金 額	¥ 3 5 0 0 0
フリガナ	※
志願者名	※
振込先銀行	三菱UFJ銀行 吉祥寺支店
受 取 人	学校法人 成蹊学園 納付金口

受験番号	
------	--

成蹊大学大学院入学検定料として
上記の金額を振込みました。

受付銀行領収印

成蹊大学大学院

(振込人保存用)

2026年度

②入学検定料振込金領収書

手数料	
依 頼 日	※ 年 月 日
金 額	¥ 3 5 0 0 0
フリガナ	※
志願者名	※
振込先銀行	三菱UFJ銀行 吉祥寺支店
受 取 人	学校法人 成蹊学園 納付金口

成蹊大学大学院入学検定料として
上記の金額を領収しました。

印紙

受付銀行領収印

成蹊大学大学院

電 信 扱

③振 込 依 頼 書

依 頼 日	※ 年 月 日	振込指定	電 信 扱	手数料				
振 込 先	三菱UFJ銀行 吉祥寺支店			金 額	¥	3	5	0 0 0
受 取 人 口座名	預金種目	フツウ	口座番号	1430648		内 訳	現 金	
		セ	イ	ケ	イ		当手 枚	
		学校法人 成蹊学園 納付金口			他手 枚			
依 頼 人 (志願者)	依 頼 人 コ ー ド		氏 名		領 収 印			
	F 1 0 1 6 2 5		※ (カタカナ)					
			※ (漢 字)					
	※ (〒 —)							
住所	※ 電 話			—		—		

依頼人コードは必ず依頼人名
頭部に打電してください

☆自動振込機は、使わないで
ください。

受付銀行へのお願い

- 国内の三菱UFJ銀行の本支店から振込む場合は手数料は不要です。
- ①、②、③票に領収印を押印のうえ、①、②票を振込依頼人にお渡しください。
- 表示金額を訂正したものは受付けないでください。

成蹊大学大学院